

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2090100484		
法人名	メディカル・ケア・サービス株式会社		
事業所名	愛の家グループホーム長野上松		
所在地	長野県長野市上松5-1-4		
自己評価作成日	令和3年7月11日	評価結果市町村受理日	令和3年9月30日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action_kouhyou_detail_2016_022_kani=true&JigyosyoCd=2090100484-00&PrefCd=20&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング有限会社		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	令和3年7月28日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様の「安心」と「尊厳」のある生活を実現するために、ご利用者お一人お一人に適した介護計画を作成し、専門的な認知症ケア及びそれぞれの立場に立った生活援助サービスを提供します。また、ご家族や地域の方々との連携または協力体制の充実を図るため、これらの方々とも好ましい関係を築くとともに、それらの方々にとっても有用な存在となれるように努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

長野市上松の住宅街に2階建ての当ホームがあり、開設より9年目を迎えている。法人の理念を基にホームの理念を毎年定め、日夜利用者の生活支援に努めている。職員は定期的に権利擁護や身体拘束に関する研修を受講し、接遇も含めた自己チェックを行うことにより自己のケアの振り返りや人権意識を高めている。さらに法人の信越地区の事例研究発表会に参加したり、職員が法人の他の事業所の事例に取り組むことによって介護における様々な事案に対する質の向上が図られている。開設より7名の利用者を見取り、現在も見取り中であることから職員の経験値の高さが窺える。2020年2月からの新型コロナ感染防止の観点から様々な活動が制限せざるを得ない状況の中で、地域との関係を断ち切らないように区長や地域包括支援センター職員、運営推進委員と随時情報を共有したり、家族に対してはオンラインでの面会や窓越しでの面会、写真入りのお便りを送付して様子を伝えるなど、身近な人との関わりをできる限り継続できるようにしている。また、利用者に対しては外気浴やホーム周りの散歩、近くのコンビニエンスストアへの買い物同行、法人の強みである「ふまねっと運動」や「タクティールケア」等を実施し、身体機能や認知機能の維持、精神面での安定を図っている。新型コロナの感染が長引き、様々な制約がある中で職員自身もその身を律し、試行錯誤しながらケアに取り組む姿勢を垣間見て本当に頭が下がる思いがした。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		